



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社ココカラファイン 上場取引所 東
 コード番号 3098 URL <http://www.cocokarafine.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 厚志
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 千田 吉裕 (TEL) 045(548)5957
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	258,847	1.6	3,916	△50.6	5,539	△48.3	2,938	△55.5
25年3月期第3四半期	254,835	4.5	7,922	△5.0	10,707	△3.9	6,601	△0.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,967百万円 (△54.8%) 25年3月期第3四半期 6,569百万円 (△0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	115.53	—
25年3月期第3四半期	259.68	—

平成26年3月期第1四半期より仕入割引に関する会計方針の変更を行っております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。なお、平成25年3月期第3四半期の数値及び増減率につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	154,358	74,873	48.5
25年3月期	149,578	73,417	49.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 74,873百万円 25年3月期 73,417百万円

平成26年3月期第1四半期より仕入割引に関する会計方針の変更を行っております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。なお、平成25年3月期の数値につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—		
26年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	348,000	3.6	5,900	△41.3	8,000	△42.0	4,200	△46.5	円 銭 165.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当期純利益につきましては、業績予想を修正しております。詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 3社 (社名) 株式会社セイジョー
株式会社ジップドラッグ
株式会社ライフオート

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	25,472,485株	25年3月期	25,472,485株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	34,508株	25年3月期	34,051株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	25,438,120株	25年3月期3Q	25,423,176株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀一体となった経済・金融政策により円安株高が進み明るさを取り戻しつつあるものの、依然として所得環境改善の動きは鈍く、新興国経済の景気減速の影響等、先行きはいまだ不透明な状況にあります。

当社が属するドラッグストア業界は、同業各社の積極的な出店や法的規制緩和による競争環境のめまぐるしい変化を受け、異業種を交えた業務・資本提携、M&A等の企業の生き残りをかけた統合・再編の動きが活発化しております。

このような状況下、当社は「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」の経営理念のもと、販売子会社を統合し設立したココカラファインヘルスケアにおけるドラッグストア事業の運営体制最適化を進めると同時に、グループ事業運営の効率化を推進しております。

事業業績といたしましては、引き続き堅調な調剤事業や平成24年11月に子会社化した株式会社コダマの業績寄与等により当第3四半期連結累計期間は増収となりました。営業利益、経常利益におきましては第2四半期連結累計期間を中心に発生いたしました販売子会社統合による一時的な経費増加及び販促施策や販売体制の再構築による影響、また負ののれんの償却の終了による営業外収益の減少等により前年同期比で減少いたしました。

出退店につきましては、新規に55店舗を出店、23店舗の退店を行い、また株式会社岩崎宏健堂を子会社としたことにより同社の62店舗を加えた結果、当第3四半期連結累計期間末の当社グループ店舗数は、下表のとおり1,355店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、258,847百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益3,916百万円（同50.6%減）、経常利益5,539百万円（同48.3%減）、四半期純利益2,938百万円（同55.5%減）となりました。

[国内店舗数の推移]

	平成25年4月1日 期首時点の総店舗数	出店	退店	平成25年12月31日 現在の総店舗数
株式会社ココカラファイン ヘルスケア	1,261	55	23	1,293
（内、株式会社コダマ）	83	1	3	81
株式会社岩崎宏健堂	—	62	—	62
合計	1,261	117	23	1,355
（内調剤取扱）	(221)	(12)	(3)	(230)

※株式会社コダマは平成25年10月1日にココカラファインヘルスケアに吸収合併いたしました。

[国内地域別店舗分布状況（平成25年12月31日現在）]

地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数
北海道	32	富山県	3	奈良県	40	佐賀県	2
宮城県	2	福井県	2	和歌山県	27	長崎県	19
山形県	1	山梨県	4	鳥取県	14	熊本県	7
福島県	3	長野県	3	島根県	3	大分県	5
茨城県	3	岐阜県	21	岡山県	12	沖縄県	5
栃木県	6	静岡県	40	広島県	29	合計	1,355
群馬県	1	愛知県	105	山口県	78		
埼玉県	54	三重県	58	徳島県	5		
千葉県	21	滋賀県	11	香川県	7		
東京都	240	京都府	34	愛媛県	5		
神奈川県	58	大阪府	155	高知県	3		
新潟県	77	兵庫県	102	福岡県	58		

〔(ご参考) 国内地域別店舗分布状況(平成25年4月1日 期首時点)〕

地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数	地域	店舗数
北海道	25	富山県	0	奈良県	37	佐賀県	2
宮城県	2	福井県	1	和歌山県	26	長崎県	18
山形県	0	山梨県	2	鳥取県	14	熊本県	7
福島県	3	長野県	3	島根県	3	大分県	5
茨城県	3	岐阜県	21	岡山県	12	沖縄県	5
栃木県	6	静岡県	39	広島県	21	合計	1,261
群馬県	1	愛知県	106	山口県	23		
埼玉県	54	三重県	57	徳島県	7		
千葉県	20	滋賀県	10	香川県	7		
東京都	236	京都府	35	愛媛県	4		
神奈川県	58	大阪府	151	高知県	3		
新潟県	77	兵庫県	99	福岡県	58		

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、154,358百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,779百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金8,700百万円の減少、売掛金1,282百万円の増加、たな卸資産7,012百万円の増加、未収入金853百万円の増加、有形固定資産1,782百万円の増加、無形固定資産392百万円の増加、投資その他の資産1,655百万円の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、79,485百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,324百万円増加いたしました。主な要因は、買掛金4,778百万円の増加、短期借入金120百万円の増加、未払法人税等2,673百万円の減少、賞与引当金866百万円の減少、ポイント引当金483百万円の増加、固定負債1,487百万円の増加等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、74,873百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,455百万円増加いたしました。主な要因は、配当金1,526百万円の支払いによる減少、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益2,938百万円による増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、通期税金費用の見積りにおいて、子会社配当金の取り扱いに不備があり、税金費用の見積りが過少となっておりますため、平成25年10月22日付「連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。

通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成25年10月22日発表予想 (A)	348,000	5,900	8,000	5,500	216.21
今回発表予想 (B)	348,000	5,900	8,000	4,200	165.10
増減額 (B-A)	-	-	-	△1,300	△51.10
増減率 (%)	-	-	-	△23.6	△23.6
前期実績	335,886	10,043	13,789	7,855	308.95

なお、第1四半期連結会計期間より、会計方針を変更しております。前期実績の数値につきましては当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。また、上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。今後の事業運営の変動等の状況の変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありますセガミメディクス(株)（特定子会社）は、連結子会社でありました(株)セイジョー（特定子会社）、(株)ジップドラッグ（特定子会社）、(株)ライフオート（特定子会社）、(株)スズラン薬局及び非連結子会社でありました(有)メディカルインデックスを平成25年4月1日に吸収合併いたしました。このため、連結子会社4社、非連結子会社1社が消滅しております。

なお、セガミメディクス(株)は同日付で(株)ココカラファインヘルスケアに商号を変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

従来、商品の仕入代金現金決済時に受取る仕入代金の減額については、営業外収益の仕入割引として処理しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、仕入控除項目として売上原価に含めて処理する方法に変更することといたしました。

激しさを増すドラッグストア業界内での出店や価格競争に加え、法的規制緩和による異業種の参入や、新たな販売チャネルの出現などによる競争など、経営環境がめまぐるしく変化する中、当社グループではその変化に機動的に対応するために販売子会社統合や基幹システムの統一をはじめとするグループ運営体制の見直しを実施しております。

これに伴い、金利動向にかかわらず統一した方針の下で仕入先との取引条件の交渉を開始していること及びシステム変更により仕入割引を仕入控除項目として店舗別損益を管理することが可能となったこと並びに改めて市場金利と仕入減額率との乖離の状況を検討した結果、市場金利との乖離が拡大していることから、従来、仕入割引として処理していた金額について仕入控除項目として売上原価に含める処理に変更することで、経営成績をより適正に表示することができると判断いたしました。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期連結累計期間の売上総利益及び営業利益はそれぞれ1,054百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ56百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は112百万円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,217	15,517
売掛金	12,402	13,685
たな卸資産	40,500	47,512
その他	11,402	12,759
貸倒引当金	—	△2
流動資産合計	88,523	89,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,971	14,340
土地	11,161	11,608
その他(純額)	4,489	4,454
有形固定資産合計	28,621	30,403
無形固定資産		
のれん	2,090	2,258
その他	1,965	2,190
無形固定資産合計	4,056	4,449
投資その他の資産		
敷金及び保証金	22,138	23,062
その他	6,447	7,191
貸倒引当金	△207	△221
投資その他の資産合計	28,377	30,033
固定資産合計	61,054	64,885
資産合計	149,578	154,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,306	56,085
短期借入金	4,800	4,920
未払法人税等	2,676	2
賞与引当金	1,808	942
ポイント引当金	1,383	1,867
その他	8,662	8,657
流動負債合計	70,638	72,475
固定負債		
長期借入金	—	752
退職給付引当金	3,187	3,534
その他	2,335	2,722
固定負債合計	5,522	7,010
負債合計	76,161	79,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	34,438	34,438
利益剰余金	37,928	39,356
自己株式	△59	△61
株主資本合計	73,307	74,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	138
その他の包括利益累計額合計	110	138
純資産合計	73,417	74,873
負債純資産合計	149,578	154,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	254,835	258,847
売上原価	190,463	192,616
売上総利益	64,372	66,230
販売費及び一般管理費	56,449	62,314
営業利益	7,922	3,916
営業外収益		
発注処理手数料	877	904
負ののれん償却額	875	—
受取賃貸料	587	632
その他	681	690
営業外収益合計	3,021	2,228
営業外費用		
賃貸費用	172	551
その他	65	53
営業外費用合計	237	605
経常利益	10,707	5,539
特別利益		
還付消費税等	366	—
国庫補助金	—	87
その他	47	3
特別利益合計	413	90
特別損失		
固定資産除却損	25	20
賃貸借契約解約損	18	98
減損損失	84	322
その他	15	24
特別損失合計	143	466
税金等調整前四半期純利益	10,977	5,164
法人税等	4,207	2,225
過年度法人税等	168	—
法人税等合計	4,375	2,225
少数株主損益調整前四半期純利益	6,601	2,938
少数株主利益	—	—
四半期純利益	6,601	2,938

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,601	2,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	28
その他の包括利益合計	△32	28
四半期包括利益	6,569	2,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,569	2,967
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(開示の省略)

上記以外の注記事項につきましては、第3四半期決算短信における開示の必要性が大きくないと考えられるため、開示を省略しております。